



使おう！JAS

建築資材には品質・性能が
明確なJAS製材品を

新潟県には広大な森林が広がっており、
木材資源が充実しています。
二酸化炭素吸収をはじめ、
森林は多くの機能を有しており、
その発揮を通じて人々の生活に恩恵を与えてくれます。
その恩恵を最大限に発揮するためにも、
積極的に木材を利用し
「木を伐って、植えて、育てる」
というサイクルを構築する必要があります。



Life with Wood

木と暮らす。木と生きる。

新潟県木材組合連合会

JAS制度とは

日本農林規格等に関する法律 (JAS 法) に基づく JAS 制度は、食品・農林水産品の品質やこれらの取扱い等の方法などについての規格 (JAS) を国が制定するとともに、JAS を満たすことを証するマーク (JAS マーク) を、当該食品・農林水産品や事業者の広告などに表示できる制度です。

国は建築物の木造化・木質化を推進しており、都市 (まち) の木造化推進法により非住宅を含めた建築物への木材利用が期待されるほか、今後予定される改正建築基準法等の施行に伴い、構造計算が必要となる機会が増えると考えられ、品質・性能の確かな構造用製材 (JAS 材) のニーズは一層拡大するものと見込まれます。

林産物の JAS 規格には、以下の 13 品目があります。

① 製材 JAS「製材」は、右表のような内容で構成されています。

② 枠組壁工法構造用製材及び
枠組壁工法構造用たて継ぎ材

③ 集成材

④ 直交集成版

⑤ 単板積層材

⑥ 構造用パネル

⑦ 合板

⑧ フローリング

⑨ 素材

⑩ 接着重ね材

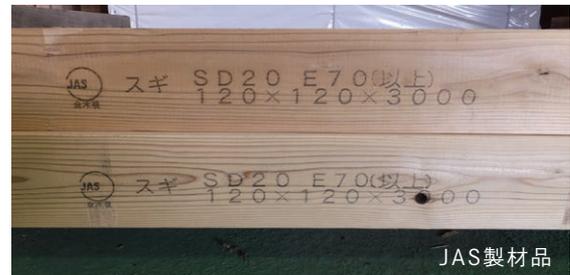
⑪ 接着合せ材

⑫ 接着たて継ぎ材

⑬ 木質ペレット燃料

1. 一般
2. 造作用製材
3. 目視等級区分構造用製材
4. 機械等級区分構造用製材
5. 下地用製材
6. 広葉樹製材

製材品は接着剤を使用しておらず、無垢 (むく) の木材という自然素材をそのまま生かして製造しています。このため産地や保育方法等によって同一樹種であっても品質に差異が生じます。しかし、JAS 製材品は、国が定めた JAS 規格に基づき、適切に品質管理等を行っていることが認証された工場で製造されており、一定以上の品質・性能が担保されています。



JAS製材品は厳格な審査・管理が生み出す 安定した品質・性能を保証した建築資材

高度な技術で品質保証

製材の JAS 認証工場・事業所の高度な技術と、標準化された品質管理システムが生み出す JAS 製材品は設計者、施工者の皆様の期待に応えます。JAS マークが表示されている製材品は、製造者が責任をもって品質・性能を保証します。

登録認証機関による 事業所認証

製材工場などの事業所が JAS 認証を取得するためには、農林水産大臣に登録された登録認証機関の審査を受ける必要があります。

日本では、一般社団法人全国木材検査・研究協会と一般社団法人北海道林産物検査会が、製材 JAS の登録認証機関として、農林水産大臣により登録されています。

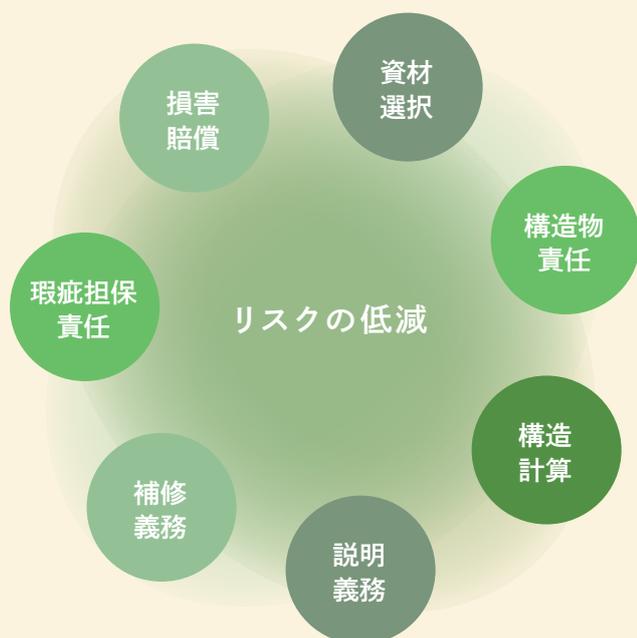
工場などの事業所を認証する登録認証機関は、国際標準化機構（ISO）及び、国際電機標準会議（IEC）が定めた「認証を行う機関に関する基準」への適合など、法律※で定められた要件を満たした機関で、厳格な審査、監査などを行っています。

※日本農林規格等に関する法律（昭和25年5月11日、法律第175号）

定期的なチェックで品質確保

JAS 製材品の安定した品質は、登録認証機関による JAS 認証事業所への監査と、事業所に義務付けられた検査を、定期的に行うことにより確保されています。

JAS製材品利用で 建築、設計関係者の皆様のリスクを軽減



日本農林規格（JAS）に基づいて製造・管理された JAS 製材品の上手な利用は、設計・建築関係の皆様のビジネスリスク軽減と、お客様に喜ばれる物件の創造につながります。JAS 製材品は、基準強度、寸法精度が明確で、正確に含水率もコントロールされています。また、製材の JAS 規格では、資材選択が簡単にできるように、規格が整理されています。



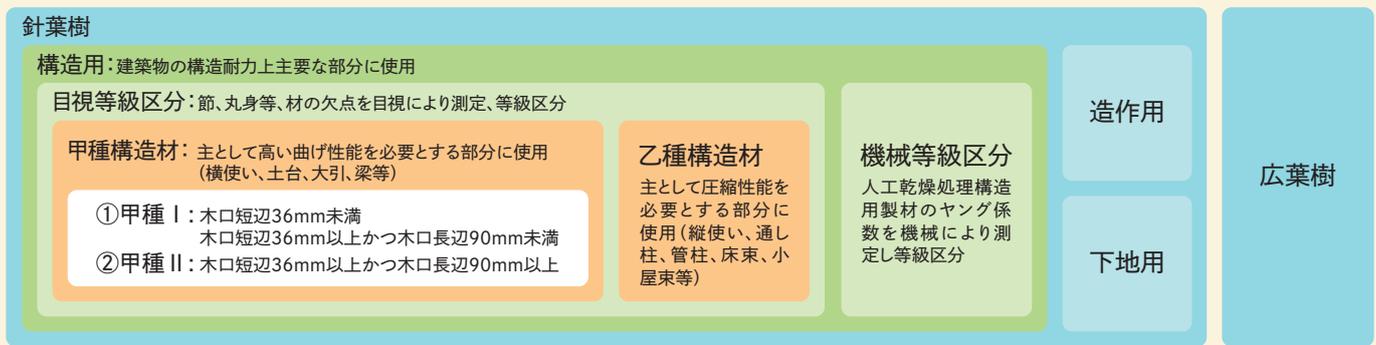
JAS製材品は使用部位別性能資材

利用しやすい品目・規格区分 製材のJAS規格では、設計・施工関係など多くの方々が利用しやすいように、建築物の部材を考慮して品目を区分し、規格を定めています。この品目区分は、利用する方が建築物の各部材に求める性能に合った確実な資材選択を容易にします。JAS製材品は皆様の要求に確実に応え、性能を発揮します。

■製材JASの認証品目区分



■製材のJAS規格の区分



許容応力度の計算が可能

JAS製材品の樹種・等級ごとに「木材の基準強度」が定められています。JAS製材品は住宅の耐震設計のための許容応力度の計算に利用できます*。

※建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第82条各号

寸法精度も正確

製材のJAS規格では、製品に表示されている寸法と実際の寸法との差が定められています。JAS製材品は寸法精度が明確なので、安心してご利用頂けます。

正確な含水率コントロール

建築物への乾燥材の使用は、完工後の不具合などの防止に役立ちます。製材のJAS規格では、品目別に含水率基準を設けているので、用途に応じた製品の選定が可能です。

保存処理製品もJAS製品を

製材のJAS規格は、土台等防霉、防蟻などの処理が必要な部材の選択も容易にしており、用途や製品を設置する環境に応じた製品を指定できます。

建築資材として高い信頼性

JAS製材品は、国土交通省が公表している「木造計画・設計基準及び同資料」、同省監修による「公共建築木造工事標準仕様書」及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」並びに住宅金融支援機構監修による「木造住宅工事標準仕様書」に、建築資材として記載されている信頼性の高い製品です。



新潟県木材組合連合会

<https://kenmokuren.jp> 

〒950-0072 新潟市中央区竜が島1丁目7番13号 新潟木材会館2F
TEL 025-245-0733 FAX 025-243-5475

JAS関連事業に関することは <https://www.jas-kouzouzai.jp/>